

# 愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2017年6週 (2月2週 2/6~2/12)

2017年1月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

## 今週の内容

### トピックス

集団かぜの発生、インフルエンザ、“風疹ゼロ”月間、子ども予防接種週間  
病原体検出情報  
定点医療機関コメント  
インフルエンザ、マイコプラズマ感染症、感染性胃腸炎、ヒトメタニューモウイルス感染症、咽頭結膜熱、RSウイルス感染症等

全数把握感染症発生状況 ( )内は件数。

結核(31)、腸管出血性大腸菌感染症(1)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(1)、急性脳炎(3)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)、侵襲性肺炎球菌感染症(5)、梅毒(4)、麻しん(1)

2017年1月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

## トピックス

### 集団かぜの発生(健康対策課発表)

発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
2月9日	瀬戸、半田、春日井、豊川、西尾、江南、衣浦東部	集団かぜの発生について(2016-2017シーズン) <a href="http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/syuudankaze2.html">http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/syuudankaze2.html</a> <a href="http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/ichiran.pdf">http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/ichiran.pdf</a>
2月10日	豊川、西尾、江南、知多、衣浦東部	
2月13日	一宮、瀬戸、半田、春日井、豊川、津島、西尾、江南、知多、衣浦東部	
2月14日	一宮、半田、春日井、豊川、津島、西尾、江南、衣浦東部	
2月15日	一宮、瀬戸、春日井、豊川、津島、西尾、知多、衣浦東部	

### インフルエンザ(図)【1月11日警報発令】

6週の定点当たり報告数は38.03、5週10,031人6週7,416人(0.74倍)です。2016/2017シーズンに病原体定点等から寄せられた検体よりA型(AH3、AH1pdm09)及びB型(ビクトリア系統)インフルエンザウイルスが検出されています。

【参考ページ】“インフルエンザ警報”を発令します!(1月11日発表)  
<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/28inlu-keihou.html>

名古屋市:名古屋市内でインフルエンザ患者の報告数が急増しています!(2月1日発表)

<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000055797.html>

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

[http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ\\_map\\_new.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influ_map_new.html)

インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/index.html>

### 2月は“風疹ゼロ”月間です(表)

2017年より日本産婦人科医学会では風疹の流行に伴う先天性風疹症候群の発症を防ぐため、2月4日を“風疹の日”、2月を“風疹ゼロ”月間として、“風疹ゼロ”プロジェクトを立ち上げました。現在、愛知県では、妊娠を希望する女性を対象に、風しん抗体検査を実施しています。

【参考ページ】

“風疹ゼロ”プロジェクトキックオフ!(日本産婦人科医学会)

<http://www.jaog.or.jp/rubella/>

風しん抗体検査とワクチン接種のお知らせ(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000070318.html>

### 3月1日から3月7日は「子ども予防接種週間」です

子どもに対する予防接種への関心を高め、予防接種実施率向上を図ることを目的として「子ども予防接種週間」が実施されます。麻しん・風しん混合(MR)ワクチンの平成28年度の第2期対象者(平成22年4月2日~平成23年4月1日生まれ)は平成29年3月31日までが期限です。早めに接種しましょう。

【参考ページ】平成28年度「子ども予防接種週間」の実施について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakuni tsuite/bunya/0000150611.html>

麻しん及び風しんの定期接種(第2期)対象者に対する積極的な接種勧奨並びにワクチンの供給等について(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10900000-Kenkoukyoku/0000150758.pdf>

麻しん・風しんの予防接種は2回受けましょう [http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi\\_4.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hi_4.html)

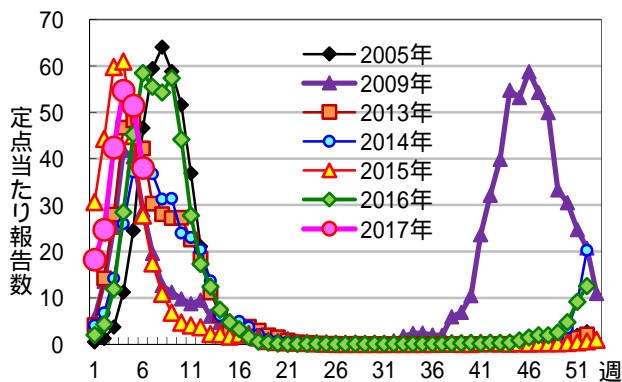


図 インフルエンザ

表 風しん・先天性風しん症候群(CRS)報告数(全国及び愛知県、2017年2月15日現在)

年	全国		愛知県	
	風しん	CRS	風しん	CRS
2012年	2,386	4	98	
2013年	14,344	32	375	2
2014年	319	9	21	
2015年	163		13	
2016年	125		20	

病原体検出情報 2016年疾患別ウイルス検出速報 (2017年2月1日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	* インフルエンザ		** 麻疹・風疹
								2016/2017 シーズン	2015/2016 シーズン	
患者数	330	43	69	19	23	59	20	251	326	16(30)
CV-A2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	(1)
CV-A4	2	1	20	-	-	-	-	-	-	-
CV-A5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
CV-A6	-	12	5	-	-	1	-	-	-	-
CV-A16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
CV-A9	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
CV-B1	-	-	4	-	-	1	-	-	-	-
CV-B3	4	1	3	-	-	8	1	-	2	-
CV-B5	7	-	7	-	-	15	-	-	-	-
E-6	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
E-30	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
HPeV-1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HRV	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-
FluAH1pdm	-	-	-	-	-	-	1	10	93	(2)
FluAH3	-	-	-	-	-	-	-	139	11	-
FluB(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	5	51	-
FluB(山形)	-	-	-	-	-	-	1	-	99	(1)
MuV	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
MeV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(3)
RUBV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(3)
Rota A G1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G2	23	-	-	-	-	-	1	-	-	-
Rota A G3	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G9	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GI	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GII	182	1	1	-	-	4	3	-	-	-
SV	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AstV	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-
Ad-2	3	-	-	3	-	1	1	1	1	-
Ad-3	5	-	1	11	1	-	-	-	-	(1)
Ad-4	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-
Ad-5	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-8	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
Ad-19	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
Ad-41	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-54	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-
B19V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3(2)
検査中	25	13	1	1	2	2	2	83	0	1(2)
陰性	67	13	25	2	16	16	11	12	68	10(15)

\*インフルエンザは2016/2017シーズン(2016年9月～)及び2015/2016シーズンの結果

\*\*麻疹・風疹の( )内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

略: ウイルス名

Ad: アデノウイルス、AstV: アストロウイルス、B19V: ヒトパルボウイルスB19、

CV: コクサッキーウイルス(Cox.)、E: エコーウイルス、FluAH1pdm: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、

FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、FluB(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、

FluB(山形): 同(山形系統)、HPeV: ヒトパレコウイルス、HRV: ヒトライノウイルス、MeV: 麻疹ウイルス、

MuV: ムンプスウイルス、NV: ノロウイルス、Rota A: ロタウイルスA、RUBV: 風疹ウイルス、SV: サボウイルス

病原体検出情報

2017年疾患別ウイルス検出速報

(2017年2月1日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	* インフルエンザ	* * 麻しん・風しん
								2016/2017 シーズン	
患者数	3	1	0	1	1	0	1	251	0(1)
HRV	-	-	-	-	-	-	-	1	-
FluAH1pdm09	-	-	-	-	-	-	-	10	-
FluAH3	-	-	-	-	-	-	-	139	-
FluB(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	5	-
FluB(山形)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-2	-	-	-	-	-	-	-	1	-
検査中	3	1	0	1	1	0	1	83	0(1)
陰性	0	0	0	0	0	0	0	12	0(0)

\*インフルエンザは2016/2017シーズン(2016年9月～)の結果

\*\*麻しん・風しんの( )内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

略: ウイルス名

Ad: アデノウイルス、FluAH1pdm09: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、FluB(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、FluB(山形): 同(山形系統)、HRV: ヒトライノウイルス

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

インフルエンザ減少(A型 27例、B型 1例)  
【一宮市 あさのこどもクリニック】  
インフルエンザA型 15名  
【一宮市 後藤小児科医院】  
インフルエンザA型 27名  
【稲沢市 愛知県厚生農業協同組合連合会稲沢厚生病院】  
インフルエンザA型 25名 B型 2名  
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】  
インフルエンザAのみ 54例  
RSV 1例  
hMPV 2例  
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】  
インフルエンザは全てA型です。  
【犬山市 安藤クリニック】  
インフルエンザ 38名(A型 37名、B型 1名)  
溶連菌感染症 5名  
【江南市 みやぐちこどもクリニック】

インフルエンザは全部A型で64件  
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】  
インフルエンザA 20名  
【北名古屋市 田中クリニック】  
46歳女 病原大腸菌O1  
34歳男 病原大腸菌O25  
インフルエンザA 20名  
インフルエンザ減少してきました。  
【清須市 丹羽医院】  
インフルエンザA型 35名  
インフルエンザB型 0名  
【津島市 医療法人参育会加藤医院】  
インフルエンザ全てA型  
【弥富市 医療法人すずきこどもクリニック】

尾張東部地区

インフルエンザA型 16名  
学級閉鎖の報告増えました。  
その他アデノウイルス感染症等  
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】  
インフルエンザA型 12例  
インフルエンザB型 0例  
【長久手市 医療法人水野内科】  
インフルエンザA型のみ 86名  
【豊明市 こども元気クリニック】  
fluAはまだ多いです。ピークは越えました。  
インフルエンザ陽性報告 49名(成人 31名、  
小児 18名 すべてA型)  
RSVなども収まっているようです。  
【春日井市 春日井市民病院】  
13歳男 7歳女 マイコプラズマ  
A型インフル 44例  
【春日井市 朝宮こどもクリニック】  
インフルエンザB型が1例見られました。  
ヒトメタニューモウイルス感染 5例  
【小牧市 志水こどもクリニック】

インフルエンザ 男10名 女11名  
【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】  
インフルエンザA型 55名  
インフルエンザB型 2名  
【半田市 医療法人林医院】  
インフルエンザA型 42名  
感染性胃腸炎散発  
【南知多町 医療法人大岩医院】  
インフルエンザA型 29名  
5歳男 アデノウイルス  
【大府市 まえはらこどもクリニック】  
インフルエンザB 10-14歳男 2名  
60-69歳男 1名  
【東海市 公立西知多総合病院】  
インフルエンザB型 1名  
他はすべてA型です。  
アデノウイルス感染症 1名(2歳)  
【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

インフルエンザA(+) 31名  
臨床症状にてインフルエンザ 2名  
RSV(+) 2か月男  
E.coli(O25) 8歳男

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】  
インフルエンザA型 20名

【豊田市 すくすくこどもクリニック】  
インフルエンザ陽性A型 男26名 女24名

【豊田市 愛知県厚生農業協同組合連合会足助病院】  
全てインフルエンザAです。

4歳男 病原大腸菌O1(+ )VT(- )

【岡崎市 にいのみ小児科】  
インフルエンザA 65例 B 1例  
ヒトメタニューモウイルス 2歳男 1歳女  
ヒトメタニューモウイルス感染症が散発

【岡崎市 花田こどもクリニック】  
マイコプラズマ肺炎 6歳男 8歳女  
インフルエンザA型 37名 B型 1名

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】  
インフルエンザA型 27人

【岡崎市 医療法人永坂内科医院】  
インフルエンザ合計31名(A型30名、B型1名)

【岡崎市 粟屋医院】  
インフルエンザA型 71名 B型 1名

【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】

アデノウイルス感染症散見されます。  
マイコプラズマ肺炎 1歳男  
インフルエンザウイルス感染症は、先週と比べて減っています。98%がA型です。

【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】  
インフルエンザA型 63名

【知立市 宮谷クリニック】  
インフルエンザA型 110名

【安城市 愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院】  
12歳女 インフルエンザB型 1名

【刈谷市 田和小児科医院】  
A型インフルエンザ 11名

【安城市 医療法人鳥居医院】  
A型インフルエンザ流行つづいています。

【碧南市 永井小児クリニック】  
インフルエンザA型 74名

【西尾市 西尾市民病院】  
成人の胃腸炎が目立ちました。

インフルエンザは今のところ全てA型です。

【西尾市 山岸クリニック】  
ヒトメタニューモウイルス感染症 2歳女

【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

インフルエンザA型が流行中です。  
時々、A群溶連菌感染症がいます。

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】  
インフルエンザA型 23名

【豊橋市 医療法人山本内科】  
インフルエンザA型 43名

【豊橋市 医療法人杉浦内科】  
インフルエンザA型 22名

【豊橋市 おだかの医院】  
インフルエンザA型 95名

インフルエンザB型 3名 計98名

【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】

インフルエンザA型 51名

【豊川市 豊川市民病院】  
インフルエンザA型 55名

マイコプラズマ感染症 11歳女 9歳女

【豊川市 ささき小児科】  
マイコプラズマ 3歳男

【田原市 愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院】  
マイコプラズマ 1名

カンピロバクター 1名

病原性大腸菌O1 1名

インフルエンザA型 57名

【蒲郡市 畑川クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2017年2月15日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun161121.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2017年6週報告数			2017年総計(1～6週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体保 有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	7	1	2	51	12	14
豊田市				3	1	
豊橋市	2	1	1	8	3	3
岡崎市	1			3		
一宮	1	1		16	9	4
瀬戸				9	1	3
半田				6	3	1
春日井	8	2	5	15	3	8
豊川	1			6	3	
津島	1		1	6	1	1
西尾	1			2	1	
江南	2	1		3	1	
新城						
知多	4			9	2	1
清須	2	1	1	2	1	1
衣浦東部	1	1		8	3	2
合計	31	8	10	147	44	38

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	衣浦東部	24歳	女	1/30	2/3	2/6	O157、VT1(+)

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	81歳	女	以前からの保菌	国内	無

急性脳炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	豊川	1歳	男	インフルエンザウイルス	国内
2	知多	13歳	男	インフルエンザウイルスA	国内
3	知多	12歳	女	インフルエンザウイルスA	国内

劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	名古屋市	88歳	女	国内

侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	61歳	男	無	国内
2	豊田市	73歳	男	不明	国内
3	豊川	63歳	男	不明	国内
4	衣浦東部	2歳	男	有	国内
5	衣浦東部	92歳	女	不明	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	33歳	男	早期顕症	性的接触	国内
2	名古屋市	34歳	男	早期顕症	性的接触	国内
3	名古屋市	49歳	男	早期顕症	性的接触	国内
4	名古屋市	43歳	男	無症候	性的接触	国内

麻しん（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	25歳	女	有	インドネシア

## 2017年1月報

(2017年2月14日現在、診断週に基づく集計)

## 1月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔( )は無症状病原体保有者再掲〕

2015～2017年に報告のあった 疾病名及び病型 ( )内は全数把握対象疾病数		2017年1月			2016年	2015年
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	総計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7)	結核	55 (8)	33 (9)	88 (17)	1,740 (445)	1,683 (463)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)
	細菌性赤痢	1 (0)	0 (0)	1 (0)	9 (2)	6 (1)
	腸管出血性大腸菌感染症	2 (1)	0 (0)	2 (1)	160 (53)	98 (21)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (2)	2 (0)
四類 (44)	E型肝炎	0	0	0	5	8
	A型肝炎	0	0	0	5	10
	オウム病	0	0	0	1	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	1
	ジカウイルス感染症*	0	0	0	2	-
	チクングニア熱	0	0	0	3	0
	つつが虫病	0	0	0	3	2
	デング熱	0	0	0	20	17
	日本紅斑熱	0	0	0	1	0
	ブルセラ症	1	0	1	0	0
	マラリア	0	0	0	1	1
	ライム病	0	0	0	0	1
	レジオネラ症	2	1	3	97	99
五類 (22)	アメーバ赤痢	3	0	3	68	66
	ウイルス性肝炎	0	0	0	5	15
	内訳					
	B型	0	0	0	4	10
	その他	0	0	0	1	5
	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症	4	3	7	76	80
	急性脳炎	3	2	5	39	27
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	1	12	8
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	0	2	26	16
	後天性免疫不全症候群	1	2	3	99	107
	内訳					
	無症候性キャリア	0	1	1	64	60
	AIDS	1	1	2	32	43
	その他	0	0	0	3	4
	ジアルジア症	0	0	0	1	4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	0	1	25	15
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	1	1	6	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	21	8	29	156	161
	水痘(入院例に限る。)	0	1	1	14	17
	梅毒	3	9	12	258	122
	内訳					
	無症候	1	1	2	69	43
	早期顕症	2	7	9	180	71
	晩期顕症	0	1	1	9	7
	先天梅毒	0	0	0	0	1
	播種性クリプトコックス症	0	1	1	11	10
	破傷風	0	0	0	5	8
	風しん	0	0	0	20	13
	麻しん	0	0	0	5	0
	薬剤耐性 アシネトバクター感染症	0	0	0	2	0
	総計	99	62	161	2,888	2,598

\* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。



五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

疾病名	2017年1月			2016年 総計		2015年 総計		
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体		愛知県全体		
				合計	合計	合計	合計	
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア感染症	男	21	51	72	905	855	1,501
		女	39	18	57	650	646	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	9	5	14	231	224	601
		女	14	11	25	402	377	
尖圭コンジローマ	男	7	5	12	207	217	328	
	女	7	1	8	106	111		
淋菌感染症	男	13	26	39	483	489	565	
	女	1	1	2	71	76		
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		80	12	92	957	1,006	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		13	0	13	102	92	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	0	1	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2016年11月21日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症* (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症** (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスのよるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

\* 2015年1月21日に「中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)」及び「鳥インフルエンザ(H7N9)」が二類感染症に追加されました。

\*\* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。





# グラフ総覧

2017年6週(2月6日～2月12日)

愛知県(名古屋市データ含む)の1999年13週から2017年6週までの定点当たり報告数のうち、  
本年を含む過去5年間及び特徴的に推移した年についてグラフ化したものです。

\*各疾病のグラフを個別に利用される場合は、衛生研究所ウェブサイトからExcelファイルをダウンロードしてください。

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.zip> \*ExcelファイルはZIP圧縮してありますので適当な場所に解凍後ご利用ください。

